


令和元年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 ほっと・すぺーす 21

1. 事業の成果

子育て・子育て支援事業を今年度は縮小して運営した。

子どもの心の居場所作りを目的とした「子どもほっとラインもしもしにゃんこ 」はボランティアスタッフの都合により1年間休止とし、留守番電話対応としたが、11月17日に自死予防月間に合わせ、午前9時から午後9時まで長時間開設日に取り組んだ。この日聴き手と話せたものは20本、ボランティアスタッフは、子どもと真摯に向き合い「安心感と信頼感」のある心の居場所づくりに心がけた。実施時間直後からかかり始め、子どもたちからは多種多様な話題が投げかけられ、この電話へのニーズと社会的使命を痛感した。次年度は毎月1回ずつ開設していきたいと思っている。

出前講座はほっと・すぺーす 21 の目的である「コミュニケーションにおける安心感と信頼感」や「他者への温かなまなざし」などを参加者と共に考える時間を提供できた。

やまないいじめや虐待、子どもの貧困、波のように取り巻くネット社会、豊かであろうはずのこの国の子どもを取り巻く様々な問題にひとりひとりが考え、未来につなぐ命を育む行動が必要と思う。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子育て・子育て支援事業	○子どもほっとライン ・常設（留守番電話） ・長時間特別開設	11月17日	松江市 松江市	12人	県内の18歳以下の子ども不特定多数	194
	・広報 カード配布 ホームページ掲載		県内全域	15人	県内の小学生～18歳以下の子ども全員	
	○コミュニケーションワーク &人権出前講座	年間	県内各地	のべ20人	幼児～高齢者まで 1,100人	0.3
	○ネットワーク	年間	松江市他	2人	関係団体・個人一般	5